



2019年9月3日  
東日本旅客鉄道株式会社

## JR 東日本 海外鉄道路線エキナカ運営に着手

～シンガポール トムソン・イーストコースト線におけるエキナカ商業権獲得～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）は、「変革 2027」に掲げる海外での「より豊かなライフスタイルの提供」を実現していきます。
- JR 東日本は、2019年8月27日、シンガポールにて公共交通事業を行う SMRT Corporation（以下「SMRT」）ならびに同国最大のリテーラーでコンビニチェーン（Cheers）を展開する NTUC Fairprice Co-operative（以下「NTUC」）と各子会社を通じて、2019年12月シンガポール国内に開業予定のトムソン・イーストコースト線駅構内商業区画の開発・運営権をシンガポール陸上交通庁（Land Transport Authority、以下「LTA」）より獲得しました。
- 本事業は、トムソン・イーストコースト線でエキナカ店舗開発に取り組むもので、JR 東日本が日本で培った「エキナカ」の開発・運営経験を海外のエキナカへ持ち込みます。海外鉄道路線における複数駅のエキナカ開発は、日本の鉄道会社として初めての試みです。
- SMRT・NTUC がシンガポールで育んだ鉄道・商業事業の知見と日本のエキナカを融合させ、トムソン・イーストコースト線利用者の利便性の向上ならびに沿線の発展に貢献していきます。
- 今後、各社子会社を通じて現地に合弁会社を設立し、運営にあたります。

### 1. トムソン・イーストコースト線 駅構内商業権概要

- 期 間 16年間
- 店舗開業時期 鉄道開業後順次開業
- 事業者 Stellar Singapore-Japan Retail Pte. Ltd(※)

※Stellar Singapore-Japan Retail Pte. Ltd は JR 東日本東南アジア事業開発（JR 東日本子会社）、SMRT Experience Pte. Ltd.（SMRT 子会社）、Alphaplus Investments Pte. Ltd.（NTUC 子会社）の3社によるエキナカ運営会社です。

#### 商業区画開発イメージ



◎トムソン・イーストコースト線概要

- 路線概要 シンガポール北部郊外 Woodlands（ウッドランズ）から中央部の住宅地を抜け、南部中心市街地を經由して東部 Sungei Bedok（スンゲイベドック）に至る通勤路線。
- 線路長 全長 43km
- 駅数 32 駅（全て地下駅）

